

授業科目名 (副題)	ネイルアート演習		
担当者	村治 麻衣		
実務経験のある教員による授業	○		
実務経験内容	美容店での在職経験を有した教員が、ネイルの基礎理論、技術、実技を織り交ぜながら、ネイルケアの技術を指導します。		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他			
[ICTの活用]			
manaba		Moodle	
その他			
<p>[授業全体の内容の概要] ネイルの基礎理論を学ぶ講義と技術を学ぶ実技とを織り交ぜながら進めていきます。基礎理論ではテキストに沿ってネイルの歴史や皮膚学、ネイルのための生理解剖学等を学び、実技では受講生同士が互いの爪で練習し合う「相モデル」の形態を取りネイルケアの技術を習得します。</p> <p>[到達目標] ①正しいネイルケアの知識と技術を身に付けることができる。 ②社会に通用するネイルデザインやカラーを学ぶとこで、知的で清潔感のある女性を目指すことができる。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間] 実技においては自宅で復習をし、体で覚えることを目的とします。自身で揃えた道具に関しては各自大切に取り扱い、実技授業前までに清潔な状態で準備してください。各回の講義についての予習・復習を行うこと(各回、予習・復習合わせて1時間程度)。</p> <p>[成績評価方法] 授業態度(40%)、提出物(20%)、小テスト(40%)で評価します。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 理解度の確認テストを回収後、回答の解説を行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[受講生への要望、その他] 人数制限1クラス20名まで。 実技授業では受講生同士が互いの爪で練習し合います。 授業で使用する道具の購入方法については初回授業で説明します。</p>			

授業科目名 (副題)	ネイルアート演習
担当者	村治 麻衣
<p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス オリエンテーション 2. ネイルの歴史と技術形態について 3. 爪の形とその整え方 4. 甘皮の処理方法とその手順 5. 爪表面の整え方 6. カラーリングの方法 7. ケアカラー 8. ネイルアート基本 9. ネイルアート応用 I 10. ネイルアート応用 II 11. 爪や皮膚の病気 12. ネイル衛生管理 13. ネイル基礎理論に関する理解度の確認 <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>【総生3-1】実現可能なキャリアプランに向かって資格取得に資する力を有している。 成績評価方法： 授業態度(40%)、提出物(20%)、小テスト(40%)で評価します。</p> <p>【総生3-2】主体的に学修を深める力を有している。 成績評価方法： 授業態度(40%)、提出物(20%)、小テスト(40%)で評価します。</p> <p>[テキスト(ISBN)] JNAテクニカルシステムベーシックに準じたプリントを授業ごとに配布します。</p> <p>[参考文献(ISBN)] なし</p>	